



おいしさで・しあわせをつくる

ダイショー



おいしさで・しあわせをつくる



第58期

中間株主通信

2023.4.1～2023.9.30

株式会社ダイショー

証券コード：2816

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第58期第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の事業概況をご報告させていただくにあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

食品業界におきましては、想定を上回るエネルギーコスト・原材料価格の上昇や、賃上げ政策への対応に向け、製品への価格転嫁が不可避な状況となるなど、企業運営の正常化には厳しい事業環境が続きました。

こうした状況のもと、当社では2025年3月期を最終年度とする3ヶ年の中期経営計画に沿い、「ダイショーらしさ」を追求し、企業価値の向上を目指し、「『強み』に磨きをかけ、市場・顧客を開拓する」「強い体力づくりへの投資で飛躍の基礎を固める」「社会・社員から信頼される企業体制を構築する」という3つの戦略を柱として、逆風の中での成長の持続に努めています。また、適正価格化をおりこみつつ高付加価値の製品開発や価格改定を軸とする収益力の改善に取り組んでいます。

以上の取り組みの結果、当第2四半期累計期間における売上高は、116億50百万円（前年同期比106.3%）となりました。営業利益は2億94百万円（同104.8%）、経常利益は2億99百万円（同104.4%）、四半期純利益は2億2百万円（同112.4%）となりました。

なお、当期の中間配当につきましては、前年同期と同額の1株当たり9円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長 CEO
松本 洋助

取締役社長 COO
阿部 孝博



第58期中間決算および上期の取り組みへの評価をお聞かせください。

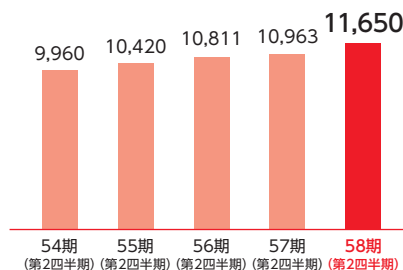
当累計期間の製品群別概況では、液体調味料群の小売用製品において、主力製品の販売に経営資源を集中しつつ一層の拡販に努めるなか、「おうち焼肉」の根強いニーズが追い風となり、『秘伝 焼肉のたれ』などの焼肉のたれ類が順調に売上を伸ばしました。また、「名店監修」シリーズのまぜそばの素の積極的な販促キャンペーンの実施とあらたに投入した『名店監修 すみれ味噌仕立て油そばの素』が好調に推移し売上を牽引しました。鍋スープでは、新製品として投入した『名店監修鍋スープ 天下一品京都鶏白湯味』や、名店の味覚の再現性をさらに高めリニューアル発売した『名店監修鍋スープ 一風堂博多とんこつ赤丸新味』が好評を博しました。業務用製品では、多彩なフレーバーで展開しているオイルソースが、精肉向けの製品を中心に引き続き好調に推移しま

した。粉体調味料群においては、今年発売55周年を迎えた『味・塩こしょう』シリーズで、有名アニメーションとのコラボレーション製品を期間限定で発売するとともに、タレントを起用した販促キャンペーンを展開するなど、主力製品を中心に拡販に努めました。その他調味料群においては、業務用製品は堅調に推移した一方で、コロナ禍における需要増加からの反動減で「スープはるさめ」などの小売用製品が苦戦を強いられました。

当累計期間においては、エネルギー・原材料の大幅な高騰や労務費の上昇などの厳しい経営環境を、適正価格による販売へのシフトを喫緊の課題としつつ、新製品の売上拡大によりコスト増をカバーすることに注力しました。また、2023年4月から「ブランド力向上プロジェクト」を開始するとともに、同8月には関西営業部と仙台支店の新事務所を開設するなど、きめ細かな営業活動とブランド力向上に努め、全社一丸となって取り組み、増収を達成したことを評価しています。

売上高

（単位：百万円）

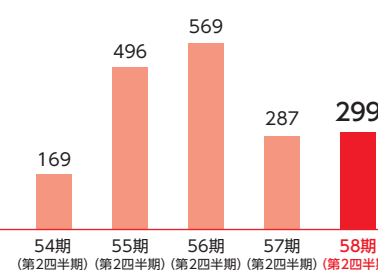


旧会計基準

新会計基準

経常利益

（単位：百万円）

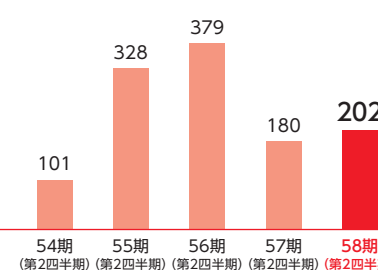


旧会計基準

新会計基準

四半期純利益

（単位：百万円）



旧会計基準

新会計基準

※「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を第56期の期首から適用しており、第55期に係る各数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。第54期に係る各数値については、旧会計基準等を適用したものです。

Q 下期の見通しおよび株主の皆様へのメッセージをお願いします。

第57期において21期連続の増収を達成した一方で、予想を上回る原材料価格やエネルギー価格の高騰により、従来の利益構造の改革を迫られております。ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や、円安基調、中国・インドなどアジア圏の大国との資源獲得競争の激化など、予断を許さないマクロ環境の変化のなか、今後もこの改革を継続してまいります。

当下期に向け、『『ダイショーらしさ』を追求し、企業価値の向上へ』をテーマとする3ヶ年の中期経営計画を進め、引き続き3つの基本戦略を着実に遂行してまいります。

『『強み』に磨きをかけ、市場・顧客を開拓する』では、あらたな顧客やニーズを開拓し、ダイショーブランドの認知度のさらなる向上に取り組みます。2023年5月にブランド力向上に関するプロジェクトを立ち上げました。同7月には「味・塩こしょう 55年ディスプレイコンテスト2023」を開催し、幅広い世代に認知度の高いコンテンツ『進撃の巨人』のコラボパッケージを発売し好評を博しました。さらに、価格適正化にともなう原価構成見直しの一環として、商品設計の主幹部門である商品本部と調達部が一体となって取り組んでいます。

「強い体力づくりへの投資で飛躍の基礎を固める」では、商流・物流の分離による業務のさらなる効率化を図るとともに、ITの活用によるデジタル化で業務の効率化を図ります。また、成長軌道を描いてきた海外事業ですが、福島原発の処理水放出にともなう中国・香港の禁輸措置で少なからず打撃を受けました。こうした政治・外交リスクを踏まえ、海外

営業部ではこれを契機に中国以外の市場開拓に鋭意努めてまいります。

「社会・社員から信頼される企業体制を構築する」につきましては、「会社の成長の基盤は人である」という当社の信条を踏まえ、制度面・環境面から多様な人材が活躍できる仕組みを創出します。また、2023年8月には関西営業部と仙台支店の新事業所をオープンし、お客様、社員のアクセス利便性の向上を図りました。また、社会からの信頼は、食品メーカーの持続的な成長の不可欠な礎と認識し、環境やSDGsに配慮した商品設計や工場設備を進めてまいります。

原油・原材料の高騰という厳しい経営環境にありながら、適正な価格転嫁や自社経費の削減などの企業努力を積み重ね、当累計期間において売上・利益ともに期首予想を上回りました。しかし、季節外れの9月の残暑や暖冬予想、海外展開における処理水放出をめぐる中国の日本産水産物輸入停止など、今後も楽観を許さない状況が続くものと予測します。引き続き、経費増や外的要因に動じない堅牢な経営体質の構築に邁進してまいります。

以上の施策により、第58期通期の見通しにつきましては、売上高243億円、営業利益7億40百万円、経常利益7億40百万円、当期純利益4億60百万円を予想しております。

今後もダイショーの経営理念である「おいしさで・しあわせをつくる」を価値創造の基本としつつ、当社の強みである開発力と提案力を研ぎ澄まし、お客様・お取引先各位との信頼関係を大切にしながら、全社一丸となり事業のさらなる成長と業務の一層の効率化に努めてまいります。

2023年鍋スープ新CM「松重豊 野菜畑篇」公開のお知らせ

2023年秋冬鍋スープシリーズの新CMに昨年に引き続き俳優松重豊さんを起用して、9月より、全国にて放映しております。今年は『野菜をいっぱい食べる鍋スープ』として“白菜鍋”と“しゃぶ鍋シリーズ”の魅力を語っていただきました。



「松重豊 野菜畑 白菜鍋スープ」篇

公式
チャンネル

<https://youtu.be/1CsCEBrXsGk>



「松重豊 野菜畑 しゃぶ鍋スープ」篇

公式
チャンネル

<https://youtu.be/Dq6k1akY8yo>

担当者から一言

販売企画部
宮下 秀美



松重さんを起用した鍋スープCMは2022年に引き続き2年目。昨年はあの有名なグルメドラマの主人公の役柄を意識したCMでしたが、今回は「野菜（素材）を美味しく食べよう」をテーマに、昨年とは違ったイメージのCMを制作しました。松重さんが“美味しそうに食べるシズル感”は昨年そのままに、見た人が「鍋が食べたい!」と思ってもらえるCMができたと思います。

倉庫管理システム「D-WMS」を内製開発

当社はApple Inc.の子会社であるClarix International Inc.のローコード開発プラットフォームFileMakerとiPhoneを連携させた新たな倉庫管理システム「D-WMS」を内製で開発しました。

ハンディターミナルよりもiPhoneを導入することでタイムリーな情報共有を実現し、さらに元々数千万円のコストと1年の期間がかかると考えていたシステムを、10分の1以下の予算と数ヶ月で構築しました。

また、「D-WMS」の開発により「入荷」「入庫」「在庫移動」「棚卸」「出荷」「事務作業」と、あらゆる業務の効率化、負担軽減を革新的に実現しました。当社はこれからもDXへの取り組みを加速させ、さらなる成果を生み出していくことを目指します。

担当者から一言

経営企画室
松井 伸明



部門を横断したプロジェクトにてアイデアを出し合いながら試行錯誤し、各部門と成果を共有できたことに達成感を得ることができました。今後も組織の生産性向上にチャレンジしてまいります。



4年ぶりの開催!

「しょくしょく探検隊」 職と食を親子で学ぶ

2023年8月24日、九州工場で「D-こどもプロジェクト 2023『しょくしょく探検隊』」を開催。地元の小学校の久山町立山田小学校と久原小学校および当社従業員の親子10組21人が参加しました。同イベントは夏休み中の小学生に職(はたらくこと)の意味を楽しく学び、工場見学や仕事体験を通じて、食(たべること)について親子で考えるきっかけづくりを目的としています。



1 初めての名刺交換

初めのオリエンテーションでは子どもたちが「初めての名刺交換」を行いました。自分の名前が入った名刺、用意された名刺ケースを使い、近くに座っている子とあいさつを交わしました。



2 スライドで会社紹介

当社社員が会社紹介や当社での仕事について、分かりやすくまとめたスライドで説明しました。



担当者から一言

総務人事部
一瀬 和輝



今回4年ぶりの開催で、予想を超えるご応募をいただきました。開催当日まで、参加する子どもたちの笑顔を想像しながら、このイベントに携わってもらう社員の方々と意見を出し合い進めてきました。子どもたちが楽しそうに名刺交換をする姿や、工場見学での驚いた表情、楽しみながらハンバーガーづくりをする姿を見ることができ、開催できてよかったなと喜ばしい気持ちになりました。今後も、より楽しく良いものを参加者のみなさんにご提供できるように努めてまいります。

3 工場探検



工場探検をする子どもたち



恒例の工場探検では、子どもたちには原料保管庫、計量スペース、調理釜、検査室、包装ライン、資材倉庫に至るまで、九州工場の各所を幅広くまわってもらい、ダイショーブランドの製品がどのような過程で製造されているのかを見学していただきました。計量体験では、食塩の重さをどれだけ正確に量れるか体験してもらい、子どもたちからは「食品製造工場ならではののにおいが印象的だった」「いろんな原料の種類を見られてよかった」といった声が上がりました。また、子どもたちが工場体験をしている間は、保護者には食育に関する話を聞いていただきました。

4 料理教室

当社の秋冬向け新製品『肉BarDish ホイップステーキ用セット』を使用したオリジナルの「ハンバーガーづくり」を体験。その後の昼食会では自分たちでつくったハンバーガーを満喫していただきました。



ハンバーガーづくりを体験する子どもたち

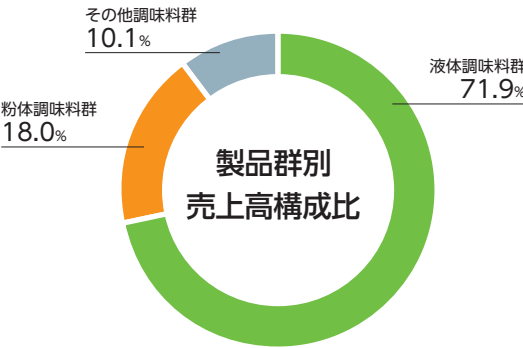
新製品の紹介

「肉BarDish」シリーズ第7弾

肉BarDish ホイップステーキ用セット



当社が実施した調査では、今後増やしていきたい食卓メニューとして「ちょっと贅沢な料理」や「外食で食べるような料理」が増加傾向にありました。そこで物価高騰の昨今でもご馳走＝ステーキが手軽に楽しめるよう、「外食店で食べるような非日常的なメニューが家庭で手軽に作れる」をコンセプトに2017年に立ち上げた洋風の肉メニュー調味料シリーズ「肉BarDish」に新アイテムをラインアップしました。『肉BarDish ホイップステーキ用セット』は、ローストオニオンの旨みに赤ワインを加え、ぶどう果汁で仕上げた「ステーキソース」と、ガーリックの風味を効かせ、パセリで彩りを添えた「ガーリックホイップの素」がセットになった専用調味料です。また、牛ステーキのほかに、ハンバーグとの相性も抜群です。



売上高	116億50百万円	前年同期比	6.3%増
営業利益	2億94百万円	前年同期比	4.8%増
経常利益	2億99百万円	前年同期比	4.4%増
四半期純利益	2億2百万円	前年同期比	12.4%増

品目別売上状況

液体調味料群



小売用では、主力製品の販売に経営資源を集中させ一層の拡販に努めるなか、「おうち焼肉」の根強いニーズを背景に『秘伝 焼肉のたれ』などの焼肉のたれ類が好調に推移しました。また、「名店監修」シリーズのまぜそばの素の積極的な販促キャンペーンの実施とあらたに投入した『名店監修 すみれ味噌仕立て油そばの素』が好調に推移し、売上を牽引しました。



新製品として投入した「名店監修」シリーズの『名店監修鍋スープ 天下一品京都鶏白湯味』や名店の味の再現度をさらに高めてリニューアル発売された『名店監修鍋スープ 一風堂博多とんこつ赤丸新味』が、売上を伸ばしました。



業務用では、多彩なフレーバーで展開している『炭火焼風 ねぎ塩ソース』などのオイルソースが精肉向けの製品を中心に前期に引き続き好調に推移しました。

粉体調味料群

ロングセラー製品の『味・塩こしょう』が発売55周年を迎え、有名アニメーションとのコラボレーション製品を期間限定で発売するとともに、販促キャンペーンを展開するなど、主力製品を中心に販売促進に努めたこともあり、売上を伸ばしました。

その他調味料群

小売用は、コロナ禍における需要の反動減で「スープはるさめ」などの販売環境は厳しく苦戦しましたが、業務用は堅調に推移し、売上を伸ばしました。

四半期貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2023年3月31日現在	当第2四半期末 2023年9月30日現在
資産の部		
流動資産	6,916	8,612
固定資産	8,436	8,234
有形固定資産	7,068	6,870
無形固定資産	85	69
投資その他の資産	1,282	1,294
資産合計	15,352	16,847
負債の部		
流動負債	4,302	5,721
固定負債	1,959	1,894
負債合計	6,262	7,615
純資産の部		
株主資本	9,015	9,130
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	7,879	7,994
自己株式	△114	△114
評価・換算差額等	75	100
純資産合計	9,090	9,231
負債純資産合計	15,352	16,847

- 流動比率は150.5%と返済能力に問題はありません。
- 有形固定資産の減少は主に減価償却によるものであります。
- 負債の増加は主に短期金銭債務によるものであります。
- 自己資本比率は54.8%と前期末より若干低下しております。

四半期損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期累計 自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日	当第2四半期累計 自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日
売上高	10,963	11,650
売上原価	6,568	7,116
売上総利益	4,394	4,534
販売費及び一般管理費	4,113	4,239
営業利益	281	294
営業外収益	13	13
営業外費用	7	8
経常利益	287	299
特別損失	1	3
税引前四半期純利益	285	296
法人税等	105	94
四半期純利益	180	202

- 売上高は、前年同期を6.3%上回り11期連続の増収となりました。
- 営業利益は増収のなかコストの効率化や価格改定もあり、増益となりました。
- 経常利益および四半期純利益も営業利益と同様、増益となりました。



[75g]

肉BarDish
ホイップステーキ用セット



[750g]

ときめきの豚鍋スープ
牛だし醤油仕立て



[750g]

チリトマト鍋スープ



[100g]

シーフードソムリエ監修
パエリアの素



[750g]

鮮魚亭 レモン鍋スープ



[700g]

野菜をいっぱい食べる
しゃぶ鍋スープ 豚と地鶏
だしの旨み 白湯仕立て



[90g]

おいしくお野菜♪
ブロッコリーのマヨてり
炒めの素



[100g]

いちご ぶどうで作る
フルーツあめの素



[300g]

豆腐と卵で作る
酸辣湯用スープ



[700g]

名店監修鍋スープ
天下一品京都鶏白湯味



[700g]

名店監修鍋スープ
一風堂ごま担々風極からか



[700g]

名店監修鍋スープ
一風堂博多とんこつ赤丸新味



[700g]

名店監修鍋スープ
麺屋武蔵だし醤油味

会社概要

社名	株式会社ダイショー (英訳名) DAISHO CO., LTD.
本社	東京 〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3 TEL: 03-3626-9321 FAX: 03-3626-9393 福岡 〒812-0064 福岡市東区松田1丁目11-17 TEL: 092-611-9321 FAX: 092-611-8288
ホームページアドレス	https://www.daisho.co.jp
設立	1966年12月19日
資本金	870百万円
事業内容	たれ、スープ、粉末調味料など製造販売
従業員数	704名

役員

取締役	代表取締役会長CEO 松本 洋 助
	取締役社長COO 阿 部 孝 博
	取締役副社長 松 本 俊 一
	専務取締役 中 西 昌 至
	常務取締役 坂 田 恵 補
	取締役 矢 野 宏 一
	取締役 根 岸 宏 樹
	社外取締役 本 多 伸 介
	常勤監査役 牛 塚 良 信
	社外監査役 成 清 一 郎
	社外監査役 中 野 宏 治

監査役

株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	9,868,800株 (自己株式216,088株を含む)
株主数	20,607名
大株主	

株主名	持株数(単位:千株)	持株比率(単位:%)
有限会社山田興産	2,442	25.30
一般財団法人金澤記念育英財団	1,488	15.41
松本賢子	853	8.84
ダイショー従業員持株会	266	2.75
松本洋助	206	2.13
株式会社西日本シティ銀行	180	1.86
株式会社福岡銀行	114	1.18

(注)当社は自己株式216,088株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

株式分布状況



株主優待ご案内



写真は3,000円相当の製品例

株主優待制度の内容

- 1 対象となる株主様**

毎年3月31日、9月30日現在の株主名簿に記載された**100株以上**ご所有の株主の皆様を対象といたします。
- 2 贈呈品** 自社製品詰め合わせ

 - 1,000円相当…100株以上
 - 2,000円相当…500株以上
 - 3,000円相当…1,000株以上
 - 6,000円相当…5,000株以上

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00 (土日休日除く)
剰余金の配当基準日	期末配当…3月31日 中間配当…9月30日 その他必要がある場合は、 あらかじめ公告して定めます。	公告方法	当社のホームページに掲載。 https://www.daisho.co.jp ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。
単元株式数	100株	上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場 (証券コード 2816)
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		

●住所変更、単元未満株式の買い取りのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
(所要時間は5分程度です)

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝 (QUOカードPay500円) を進呈させていただきます

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

①下記URLにアクセス ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード **2816**

……………以下の方法でもアンケートにアクセスできます……………



検索窓から



kabu@wjm.jp ←こちらへ空メールを送信
「件名」「本文」は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。



スマートフォンから
カメラ機能でQRコード読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

「e-株主リサーチ事務局」
アンケートのお問い合わせ MAIL: info@e-kabunushi.com (2201)



〒130-0014 東京都墨田区亀沢1丁目17-3
TEL:03-3626-9321 (代)
<https://www.daisho.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

